

# こんな子

いないかなあ…

## たとえば…

### 大人になっても…

### 幼いころから…

### 就学してから…



昼夜逆転  
しやすい

順番が  
待てない

持ち物を  
よく  
なくす

「読む」「書  
く」「計算」の  
いずれかが極  
端に苦手

気分  
に極端に  
むらがある

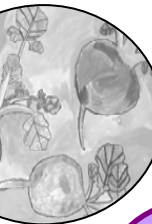
椅子に  
座っていても  
手足が動いたり、  
立ち歩いたり  
する

部屋の  
整理整頓が  
出来ない

特定の  
音や物に  
こだわる

落ち着きが  
無く、手を離す  
とどこに行く  
かわからない

表情の動き  
が少ない



教科によって  
学力に  
極端な  
差がある

大勢の  
中での声か  
けでは、伝  
わりにくい

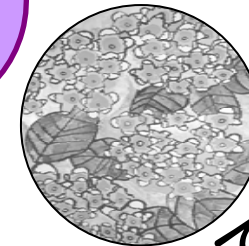
感情を  
爆発させる  
ように  
怒ってしまう

指差しを  
しない

ある動作・  
順序・遊びな  
どを繰り返し  
たり、著しく  
執着する

食べられる物  
の種類が  
とても少ない  
(偏食)

忘れ物  
が  
多い



小さな  
音に敏感

視線が  
あわない

● 出典 ●

NPO 法人 人・ふれあい・ひろば代表、  
岡山県青少年相談員 藤井弥生さん

ぶどうの一粒一粒は、みんな大きさも色も味も様々。良いところ、苦手なところのデコボコがいっぱいあるけれど、そこが魅力的なところなのです。

まわりを困らせる子…  
本当に困っているのは、  
子ども自身です

子どもたちを困らせている  
“わかりにくさ”って？

たとえば…

●見え方、聞こえ方などの感覚の違いから

余分な情報（今、見えているものや聞こえているもの）をカットしきれないため気になって集中できない。光や音、暑さ寒さに過敏だったりする。

●認知、認識の違いから

間違った言葉の使い方をして話が伝わりにくかったり、お友達の話すスピードについていけなかったり、場に合わないことを突然話し出したりする。そのため対人関係での苦勞が絶えない。

●イメージする力の弱さから

「ああなって、こうなって、それから…」とイメージするのが不得意なので失敗することが多い。

●こだわりが強かったり、待つことが辛い

思い込みや決めつけてしまうこともあったりして、ルールを守れないときがある。また、急なルールの変更に弱かったり順番が待てなかったりする。

出典：さくらのほあと

困ったときは、「発達障害☆お助けミニ情報」がお役に立てるかも…♪お近くの公民館へお尋ねください

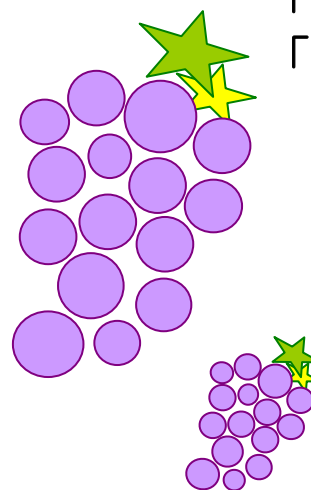
今回のイベントのために結成した、公民館で活動しているグループや関係団体からなる企画委員会のメンバーと一緒に、作成しました。

「一見ふつうの子」なのに、  
「しつけがなってない！」  
「わがままな子…」と見られてしまう…

実は、発達障害があるのかもしれない。

その障害が目に見えるなら理解しやすいけれど、  
見えないから理解されにくいのです。

少し様子を見ていれば、  
きちんとしようと思ってもきちんとできず  
悩んでいたり、できないことへのイライラから  
不自然な行動になってしまっている…  
そんなつらい本当の気持ちが見えてきます。



相談できる  
施設や病院、

相談しあえる  
仲間がいます。

ひとりで  
悩まないで (\*^~^\*)

メッセージ  
おなじ立場の親たちより…

子どもは、  
少しずつちゃんと成長する

不安や悩みは尽きませんが、相談に乗ってくれる友達や支援して下さる方たちがいます。大変な事もあるけれど、子どもは少しずつちゃんと成長していきますよ。我が子のためなら頑張れます。

～H22年度おもしろ子育て奮闘記より～